

教科	家庭科	学年	3年	時間数	1 / 週
使用教科書	・新編 新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）				
副教材	・技術・家庭ノート 家庭分野（開隆堂）				
学習の目標					
<p>○小・中学校の学習内容や指導方法等に系統性と発展性を持たせながら、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p style="text-align: right;">(1)生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に着ける様にする。</p> <p>(2)生活の中から問題を見いだして課題を設定しこれからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度をやしなう。</p>					

評価基準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に着けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価の仕方	・行動観察や学習活動内容、ノート、ワークシート、定期試験、作品等を活用し、総合的に評価する。	

